



長岡版

発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2019年  
6月10日  
第1959号

先週号掲載の「詐欺のハガキ」について、先日、類似したハガキが会員宅に届きました。ハガキには電話番号が記載されていますが、決して連絡してはいけません。無視してください。

# 東日本7都道県およそ300人が集まり、第4回地方別活動交流会が開催されました

5月25日(土)・26日(日)、東京都にて全商連第4回地方別活動交流会が開催されました。この交流会は都道府県を超えて活動の交流を図るため、2年に一度、全国を6つのブロックに分けて行われており、参加対象者は民商・県連の三役(会長・副会長・会計)、青年部長、婦人部長、事務局長となっています。両日は東日本の7都道県(北海道・新潟・長野・千葉・東京・山梨・富山)の民商・都道県連からおおよそ300人が集まり、長岡民商からは花澤政晴会長、酒井光男常任理事、角屋健一青年部長、事務局長・金内の4人が参加しました。

初日は保母武彦島根大 学名誉教授の記念講演、6つの民商からの活動報告などが行われました。保母教授の記念講演からは、「反対」だけでは国民の理解を得られないこと、前向きな提案が必要であるということなどを学びました。例えば海水汚染については、「海を汚すな」だけでなく(これももちろん大事なことです)、そこからさらに前に進んで、「泳げる海にしよう」などの未来展望が大切である、ということでした。中小業者の運動もこれと同じで、保母教授はどのような社会をつくるのか、しくみや制度の提案が望まれると強調しました。



6民商の活動報告からは、ひたむきな努力や誠実な取り組みが伝わりました。「民商は仲間を増やして民商を強く大きくすることが求められますが、仲間を増やすのは誰なのでしょう?それは、なぜ、会員自身です。それでは、なぜ仲間を増やすのでしょうか?それは自分たち(民商会員・家族、ひいては中小業者全体)の商売・くらしのためであり、要求実現のためです」との発言に、民商の理念である「会員が主人公」

を再認識しました。

2日目は午前に分科会、午後からは初日に続いて民商からの活動報告が行われました。第1分科会「改憲・増税阻止の運動」では、「憲法学習会を行ったが、難しく理解できないとの声も上がった。内容を改善したい」「消費税増税阻止の運動が盛り上がりがない。増税に無関心である人が多いのは消費税の仕組みが難しいからであり、学習会を多く開いた」との発言もあり、大変共感できるものでした。長岡民商からは「消費税をなくす長岡各界連」の運動を報告しました。非常に充実した2日間でした。東日本の仲間と交流し、刺激を受けるとともに大変勉強になりました。今後の活動に役立てます。

## 7・21長岡民商総会に向けて 班・支部で集まりましょう

長岡民商第57回定期総会を7月21日(日)に開催します。総会までに各班・支部で集まり、参加者(代議員)の決定や支部役員について話し合ってください。民商総会にはひとりでも多くの会員が参加するように、仲間どうし声を掛け合ひましょう。

現在、長岡民商は廃業による退会が非常に多くなっています。景気が悪くなっている中での消費税増税は、中小業者にとっては死活問題です。増税延期と民商の仲間増やしについても、ぜひ話し合ってください。

## 労働保険事務組合 労働保険料のおしらせ 第1期分 6・25(火)引き落としです

近日中に、長岡民商の労働保険事務組合に加入している事業所に労働保険料の納入通知書を発送します(建設業一人親方組合加入の皆様には5月下旬にご案内発送済み)。年度分の事務組合費等を含む第1期分の保険料は、6月25日(火)にご指定の銀行口座より引き落としとなります。ご準備をよろしく願います。

